

Let's talk:

嶋津幸樹の世界と繋がる IELTSブログ



英検 公益財団法人
日本英語検定協会
Eiken Foundation of Japan

BRITISH COUNCIL IELTS
Official Test Centre

第1回「世界基準の英語の試験 IELTS との出会い」 嶋津幸樹

皆さん、はじめまして!IELTS が誕生した年と同じ 1989 年生まれの嶋津幸樹と申します。全 8 回でお届けする連載「世界と繋がる IELTS」では 4 技能別の概要と学習方法、IELTS スピーキング・ライティングで使える表現集、そして IELTS の魅力をお届けしていきます。記念すべき第 1 回では「世界基準の英語試験 IELTS との出会い」と題して、自己紹介を含めて IELTS との出会い、そしてなぜ IELTS が世界基準でありグローバルパスポートと呼ばれているのかについて解説していきます。

人生で初めて IELTS という不思議な文字を見たとき「イエルツ?」と読んでしまった過去を思い出します。英国留学を志し、初めて IELTS を受験したのはちょうど 10 年程前、初受験では IELTS の難易度の高さに苦しめられ、その後の半年間は IELTS 漬けの生活を送り、IELTS に魅了され IELTS にハマリ、今では多くの IELTS 書籍を出版し、ブリティッシュカウンシル公認 IELTS エキスパートとして全国の学校教育機関を巡り、IELTS に対する愛を語っています。

そんな私の原点は高校 1 年の冬、英検 2 級に奇跡的にギリギリ合格したことで山梨県の片田舎ではレジェントとして話題となり、高校 2 年の夏から自宅に近所の子どもや部活の後輩を集めて英検の語彙選択問題を教え始めたことが全ての始まりです。当時教えていた後輩 23 名が全員英検に合格し、同時に私の英語の偏差値は 80 を超え、英語学習にハマっていきました。高校から TOEIC を受験するようになり、何百冊もの英語参考書を買って漁り、英語を教えながら英語の問題を解くことが快感になっていきました。

「英語バカ」と称されるほど、英語学習にハマリ、大学では TOEIC を毎月のように受験して 900 点を超え、さらに英語を極めようと英国留学を決意した時に会ったのが世界基準の英語の試験 IELTS です。オックスフォード大学の入学条件には英検でも TOEIC でもなく、IELTS と書かれていました。この未知の英語の試験に挑戦するしかない!と意気込んで受験してみると想像を遥かに超えた予想外の難しさ、そして日頃考えたことのないシンプルな話題から学術的な内容に圧倒されたのを覚えています。

特にスピーキングテストでは綺麗なイギリス英語を話す面接官に個室に招かれ、緊張感漂う雰囲気の中、録音を開始する旨を伝えられ、さらにドキドキしました。テストの中では「How do people in your country feel about birds? (あなたの国の人々は鳥についてどう感じますか?)」という質問に沈黙してしまいました。そこからさらに複雑で、予想外の質問が飛び交い呆然としたまま面接時間が過ぎていきました。スピーキングの結果は 6.0 でしたが、約 1 年後の受験では 8.5 まで上げることができました。

IELTS の勉強と受験を重ねていくうちに痛感したのは、実社会で使える自分の英語力の成長と共にスコアがアップしていくということです。言い換えると、この対策をすればこれだけスコアが上がるといった試験対策は通用しません。僕が IELTS を評価しているのはこの本質的な英語力の成長を評価してもらえる点です。

また日常生活や学術的な活動まで幅広い分野が扱われる IELTS では、自分の好きな色から脳神経科学などについて、聞く・読む・話す・書くの 4 技能が評価されます。リスニングの Part4 では大学の講義などの学術的なテーマに関する談話が出題されますが、ちょうど大学の言語学の授業で学んでいた Dyslexia and Dyscalculia に関する内容が出題されたときには、実際に大学での講義に出席している気分になり、実社会との接続ができていて素晴らしいと感銘を受けたこともあります。

IELTS の魅力を語り始めると止まらなくなりますが、本質的な英語力を身につけた上で受験すると、しっかりスコアメイクができる試験だと思っています。世界 11,000 以上の機関に認められ、グローバルパスポートとして留学や就労、移民などにも役立つ IELTS は、これから日本でも続々と普及していくはずで、この連載ではこれまでの血の滲むような特訓、スコアメイクまで身を粉にして取り組んだ成果と実践を共有させていただき、皆さんの IELTS へ向けた英語学習とその先にある英語を使って、世界に羽ばたく一助となれば幸いです。IELTS で世界へ羽ばたいていきましょう！

[IELTS 編集部 記事一覧へ戻る](#)